

周産期診療部

スタッフ紹介



部長
もりもり たいすけ
森 泰輔
(産婦人科
教授)

副部長	はせがわたつじ 長谷川龍志 (小児科 学内講師)
副部長	たなかゆきこ 田中佑輝子 (産婦人科 学内講師)
助教	はしぐちかなえ 橋口加名栄 (小児科)
助教	ずいき まさし 瑞木 匡 (小児科)
助教	いちせ えいすけ 一瀬 英佑 (小児科)
助教	しむら こおき 志村 光揮 (産婦人科)
病院助教	ふじい まや 藤井 麻耶 (産婦人科)
病院助教	やぶもと かずや 數本 和也 (産婦人科)

私たちの業務

当院周産期診療部では、産科病棟、MFICU（母体胎児集中治療室）、NICU（新生児集中治療室）、GCU（新生児治療回復室）から構成されています。

MFICUは2018年4月より開設し、部屋はすべて個室で、現在3床が稼働しています。NICUは2021年8月よりNICU認可病床9床、GCU認可病床12床とNICUが増床され運営しています。また、2021年8月から周産期診療部は京都府総合周産期母子医療センターに指定されました。2004年度より開始された日本周産期・新生児医学会の周産期新生児専門医制度の下、基幹研修施設として、周産期（新生児）専門医を含む小児科医が診察にあたっています。

◆ 診療体制の特徴

MFICUでは、切迫早産、前期破水、妊娠高血圧症候群、胎児妊娠、胎児発育不全、膠原病合併症妊娠などのハイリスク妊娠、常位胎盤早期剥離や大量出血などの集中的治療が必要な症例において、24時間体制で医師と助産師が連携をとり集中的に治療をおこなっています。他に、児の先天性心疾患、消化器疾患、水頭症などの中枢神経系疾患など多くの疾患を最新の超音波機器などを用いて評価し、妊娠中から小児科、小児外科、脳神経外科など他科と連携をとって高度な周産期医療を行っています。さらに、妊娠前からの健康管理を目的としたプレコンセプションケア外来や妊娠と薬外来、また遺伝相談にも対応しています。

NICUでは、染色体異常を含む先天異常、早産児（出生体重1,500g未満を含む）、SGA（small for gestational age）児、新生児仮死など、集中治療を必要とする新生児を24時間体制で受け入れています。先天性心疾患、神経筋疾患、血液・腫瘍疾患、先天性代謝性疾患なども小児科の各専門グループと共同で治療にあたっています。急性期から退院まで、呼吸循環管理、脳保護、栄養、感染症などの治療を行うとともに、児の成長発達を考え、デベロップメンタルケア、母児愛着形成促進などにも力を注いでいます。

◆ フォローアップ外来（乳児・発達外来）

当外来では、NICUを退院したハイリスク児（発達に何らかの異常を認める可能性のある児）のフォローアップを行っています（毎週月曜日・金曜日：予約制）。早期発見と育児支援を目的とし、京都府内の療育施設と連携をとって診療にあたっています。特にハイリスク児については、学童期まで発達検査を行っています。また、経管栄養（胃瘻を含む）、気管切開、在宅酸素療法、在宅人工呼吸器管理などの医療的ケアが必要な児・その家族に対して、当院地域医療連携室や地域の小児科医師、訪問看護ステーションなどと共に、NICUからの退院支援、退院後の在宅支援を行っています。

◆ フォローアップ外来（母体）

プレコンセプションケアの一環として、妊娠中に合併症等を認めた方への分娩後の次回妊娠に関する指導も行っています。さらに、当院・他院での分娩を問わず、産後経過を踏まえたインターコンセプション相談にも対応しています。

◆ 教育

当院では、周産期専門医（新生児、母体・胎児）を取得することができます。また、新生児蘇生法の講習会も開催しております。ご興味のある方は、下記まで連絡をお願いいたします。

府立医大 周産期診療部

周産期(産科)外来

TEL 075-251-5693

NICU

TEL 075-251-5690

小児医療センター外来

TEL 075-251-5043